

2010 年度
エコアクション21
環境活動レポート



小倉商事株式会社

報告期間：2009年9月1日～2010年8月31日

作成日：2010年10月1日

【基本理念】

小金商事株式会社は地球環境保全と、きれいな地球を次世代に残す事が責任と認識し、当社で取り扱う商品及び開発商品、また社内で使用する事務用品などの消耗資材も含め環境負荷の軽減に寄与できる製品への提案を推進し営業活動を行います。

【環境方針】

- (1) 環境目標・行動計画を策定し、自主管理基準を作成の上、遵守します。
- (2) 環境関連法令・条例・規制等を遵守すると共に明確な目標へ向け推進します。
- (3) 環境に配慮した製品の提案販売に努めます。
- (4) 環境負荷の軽減のため次の活動を推進します。
 - I. CO₂排出量の削減のため、電力・燃料の効率化に努めます。
 - II. 自社内で発生する古紙など廃棄物のリサイクル化を徹底し、廃棄物の削減に努めます。
 - III. 水資源の節約に努めます。
 - IV. エコノミー運転を心掛け、無駄なガソリン燃料の消費を抑えることに努めます。
- (5) 環境方針達成のため、全社員が目標に向けての活動に努めます。
- (6) 環境方針・目標は毎年1回見直しを行い、必要に応じ改善をします。

2006年11月1日制定

2009年5月1日改定

小金商事株式会社

代表取締役社長 石黒 学

事業所概要

(1) 事業所名及び代表社名

小金商事株式会社

代表取締役社長 石黒 学

(2) 所在地

東京都葛飾区南水元 4-22-7

(3) 環境管理責任者氏名

環境管理責任者 : 代表取締役社長 石黒 学

担当者 : 営業部 窪田 幸司

TEL : 03 (3600) 0251 FAX : 03(3600)0610

E-mail : kogane@oregano.ocn.ne.jp

(4) 事業内容 (認証・登録の範囲)

めっき用各種原材料 (非鉄金属・工業薬品・金属表面処理剤・研磨剤)
及びめっき装置・公害防止処理装置・関連付帯機器等の設計、販売

(5) 事業の規模

売上高 : 65660 万円/年

主要製品出荷量 : 500t/年

従業員数 : 8 名

事業所の延べ床面積 185 m²

環境目標及びその実績

当社の事業活動における環境負荷を「環境負荷の自己チェック」で把握し、次の5項目を環境目標として策定した。

詳細内容及び実績は下記の通りである。

環境目標	2009年度 (基準年度)	2010年度			2011年度	2012年度
		目標値 基準年比	12ヶ月実績 2009/9～ 2010/8	目標 達成率	目標値	目標値
電気使用量の削減 (kwh)	9871 2474	△0.7% 9800	9715	△1.6%	△1.5%	△2.5%
廃棄物排出量削減 (kg)	102 25	△2.0% 100	104	2.0%	△2.0%	△2.5%
総排水量の削減 (m ³)	97 32	△2.0% 95	98	1.0%	△2.0%	△2.5%
ガソリンの削減 (ℓ)	7020 1747	△0.3% 7000	6985	△0.5%	△2.7%	△3.0%
二酸化炭素排出量削減 (kg)	22050 5507	△2.5% 21500	21080	△4.4%	△1.5%	△2.2%

環境活動計画と取組結果の評価

エコアクション 21 の取り組みで社員の環境意識は向上したものの、廃棄物の排出と排水が未達成であった。今年の夏は猛暑で、水撒き等を行い、体感温度を下げるなどの工夫をした為、排水量が増加してしまったものと考えられる。

LED の設置を行った為、消費電力は極端に削減することが出来、目標を達成することができた。良い部分は今後も継続して進める。

来期は、全項目の目標達成を目指し、取り組む予定。

環境計画の内容	目標達成率	取り組み結果の評価
電気使用量の削減		目標達成
①使用しない部屋の電気の消灯	目標 △0.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・今期に入り、照明をLEDに付け替えた。消費電力の削減の主な要因。 ・今年の猛暑も、クールビズで冷房を調整し、目標を達成した。
②エアコンの暖房・冷房室温調整	実績 △1.6%	
③クール・ウォームビズ運動		
④LEDの設置		
廃棄物排出量の削減		目標未達成
①両面コピーの推進	目標 △2.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・無駄な印刷を可能な限り行わないように、データによる送付の活動を今後推進する。
②無駄な紙類の不印刷	実績 +2.0%	
③廃棄物の分別の徹底化		
総排水量の削減	目標 △2.0%	目標未達成
①節水シールによる呼びかけ	実績 +1.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・検針が2ヶ月毎で、実績値は平均の推定。 ・具体策を見直し、次期は達成するように努める。
ガソリンの削減		目標達成
①エコノミー運転の徹底	目標 △0.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・エコノミー運転を徹底し、社内、各車にエコノミー運転の実施案を置く事によって達成した。 ・今後も、継続して活動する。
	実績 △0.5%	
二酸化炭素排出量の削減		目標達成
①電気使用量の削減	目標 △2.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・電気、ガソリンの使用量の削減については、上記の活動を取り組み、継続する。 ・今期は、消費電力の削減が、二酸化炭素の排出量を抑えた主な要因となった。 ・今後も、継続して活動する。
②ガソリンの削減	実績 △4.4%	
③石油ガスの削減		

環境関連法規への違反、訴訟の有無

当社に適用される、主な法規は以下の通りで、これらの環境関連法規への違反はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

適用環境法令等	当社の対応状況	遵守状況
危険物の規制に関する政令 S.37.3.31 制定 (H.18.3.31 改正)	取扱・貯蔵の許可・届出済み 指定数量以下 (第一類 990kg以下)	届出済み 指定数量以下
東京都火災防止条例 S.37.3.31 制定 (H.18.3.31 改正)	・危険物に対しては、禁水倉庫にて、厳重に取り扱っている。 ・消火器の配置済み	危険物の 対応済み
葛飾区廃棄物の処理及びリサイクルに関する条例 H.11.12.22 制定 (H.21.4.1 改正)	・事業廃棄物は、有料ゴミ処理券を購入し、廃棄物に貼付して排出している。	条例に従い 行動している

代表者による全体の取組状況の評価及び見直し

取組状況の評価を行い、当社の基本理念・環境方針を貫く為には、各分野において次のような見直しが必要であると考えた。よって、来期の目標として各分野の活動計画を立てたものを以下に記載する。

- 節水計画（継続）
節水バルブの設置。
節水シャワーの設置を検討。
- ウォームビズの計画（継続）
室温を 19℃～20℃に設定。重ね着、ブラインドを利用し、消費エネルギーを削減。
- クールビズの計画（継続）
室温を 28℃以上で設定。空調管理をこまめに行い、自然の風を上手く使う工夫をする。
- 暖房・冷房器具の検討（継続）
高 COP の製品への変更を検討。
こまめな空調管理を行う。
エアコンのフィルター掃除をこまめに行い、無駄なエネルギーの消費を抑える。
- 真空ガラス（窓）の検討（新規）
真空ガラスの窓への変更を検討。
断熱効果により、暖房、冷房機能を抑える事が可能。
無駄なエネルギーの消費を抑える。

また、社内の取組だけでなく、来期は環境商材の研究・開発・販売を視野に入れ、以下の活動計画を行う。

- 資源リサイクル装置の開発
- 環境保全系薬品の研究開発